

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所	伊丹市立 昆陽里小学校	研究チーム名
属・職・氏名	職・氏名 教諭 戸田 征男	(チーム昆陽里)

研究テーマ分類番号 (15)

(1)研究テーマ
一人一人を大切に作る授業づくり - 聴き合い支え合う学習集団をめざして -
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>7月6日(火) 授業を互いに公開し検証し合いながら、日々の実践的研究を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所 伊丹市立昆陽里小学校 ・調査方法 公開提案授業 ・講師 兵庫県立大学環境人間学部教授 ・成果および課題 <p>[学びの場の設計について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が大切にされている、居場所がある集団。そのため教師は、丁寧に子どもと向かい合っている。 <p>[子ども達が聴きあう関係作りについて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人組3人組4人組など、小集団をうまく使い、教師がしっかりとかわり展開する必要がある。 <p>9月9日(木) 『体と心のメッセージ』研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 兵庫県立大学環境人間学部教授 ・成果および課題 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに言葉と思いが届く体のありかた、声の出し方。 ・共に支えあってつくる集団での、一人一人の体の向かい合い方。 ・これらについて、教師の子どもと向かい合うための基本（普段忘れがちな）について学ぶことができた。 <p>11月10日(水) 授業を互いに公開し検証し合いながら、日々の実践的研究を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所 伊丹市立昆陽里小学校 ・調査方法 公開提案授業 ・講師 兵庫県立大学環境人間学部教授 ・成果および課題 <p>[学びの場の設計について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと会話できる教師でなければならない。 (子どもの目を見て聴く。一人一人をほめ期待をかける。) <p>[子ども達が聴きあう関係づくりについて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受信意識の弱い発信型であってはならない。 (教えなければという責任感がそうさせる。)